

園のリーダーのために

保育ナビ

2022
APRIL
〈1/12〉

4

大特集

なぜ、私たちは
保育を変えたのか
〜次世代リーダーの決断

人材育成
わいわい語り場
離職率、
人材確保の課題
どう対応したら
いい？

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営
組織規模に応じた
経営方針と
重点テーマ

ステップアップ
小学校との接続
接続の重要性と
今取り組む
べきこと

Hoiku
navigation

お知らせ

耳よりな
保育情報を配信！
「保育ナビ倶楽部」
会員募集中

Friedrich Fröbel
240th anniversary of birth

フリードリッヒ・フレーベル 生誕240年を記念して

2022年4月21日は、幼児教育の祖と呼ばれるフリードリッヒ・フレーベルがドイツ・チューリンゲンに生誕してから240年の区切りとなります。

世界で初めての幼稚園を創設し、子どもたちが最初に出会う遊具としての「恩物」を創案したフレーベル。彼の「さあ、私たちの子どもらに生きようではないか！」という言葉はあまりにも有名で、幼児教育に携わる者の基本姿勢として今も多くの保育者の心を捉えています。

『保育ナビ』では、汐見稔幸先生による解説に小西貴士さんの写真を添えて、2018年より4年間にわたり、「フレーベルのことば」をご紹介してきました。今年度もさらなる子ども理解のために幼児教育の原点を確認しながら、「フレーベルのことば」を読者の皆さまと共に紐解いていくことができれば幸いです。



Friedrich Fröbel
フリードリッヒ・フレーベル
(1782-1852)



『フリードリッヒフレーベル いま、私たちが学ぶもの』(岡田正章編、フレーベル館、1987)

フレーベル略年表

1852年	1851年	1840年	1839年	1837年	1835年	1831年	1829年	1826年	1825年	1818年	1817年	1816年	1812年	1805年	1802年	1801年	1799年	1792年	1786年	1785年	1783年	1782年
70歳	69歳	58歳	57歳	55歳	53歳	49歳	47歳	44歳	43歳	36歳	35歳	34歳	30歳	23歳	20歳	19歳	17歳	10歳	4歳	3歳	9か月	
6月21日、マリエンタールにて死去。	ルイゼと再婚。プロイセン政府、幼稚園禁止令発布。	「幼稚園の設計計画案」発表。一般ドイツ幼稚園創立の記念祭。	妻ウィルヘルミーネ亡くなる。	の考案と製作と使用法の解説に全力を注ぐ。	ブルクドルフの孤児院長になる。	スイスのワルテンゼーに教育舎開設。	教育舎の経済状態が悪化。人間関係に影響を与える。	「人間の教育」出版。	教育舎の生徒は56名に達する。	ウィルヘルミーネと結婚。	カイルハウに教育舎を移転。	長兄の遺児、次兄の二児を引き受け、グリースハイムに「一般ドイツ教育舎」を開設。	ベルリン大学に学ぶ。	ペスタロッチの弟子、模範学校の校長グリーナと出会う。ペスタロッチを訪問。	父親が死亡。森林局書記となる。	イエナ大学を退学し、農夫となる。	イエナ大学哲学科に入学。	実母の伯父ホフマンのもとで暮らし始める。	弟が生まれ、継母の態度が冷たくなる。	父親が再婚する。	2月7日、母親が病死する。	4月21日、現在のドイツ・チューリンゲンのオーベルバイスバッハに、牧師の末子として生まれる。

* 『フリードリッヒフレーベル いま、私たちが学ぶもの』(岡田正章編、フレーベル館、1987)、 『保育専科 特別別冊 子どもとともに生きよう～フレーベルから学ぶもの』(岩崎次男編、フレーベル館、1990) をもとに作成

巻頭

フリードリッヒ・フレーベル
生誕240年を記念して

フレーベルのことば

汐見稔幸 小西貴士

大特集

なぜ、私たちは 保育を変えたのか

次世代リーダーの決断

…6

岡部祐輝 大友潤一 木元健太郎
大豆生田啓友 北野幸子 矢藤誠慈郎

保育悩みのタネ …20

汐見稔幸

保育ナビらじお …22

大豆生田啓友 小西貴士

私の園の自慢の給食 …23

社会福祉法人みつくす社会福祉会
みつばこども園



少子化、保育者不足などによる園経営の厳しい側面は、園のリーダーを悩ます大きな課題です。本特集では、この課題を乗り越えるためには、保育内容こそが園の未来を変える鍵だというリーダーの気づきから、「子ども主体の保育」への変革に動き出した3つの取り組みをご紹介します。

主 遊びが育つ保育 …24

保育者が提案するクラス活動と遊び

河邊貴子

リ 0・1・2歳児の保育のきほん …28

〜こころの育ち編〜

井桁容子

園のかたち2022 …30

世田谷代田 仁慈保育園（東京都世田谷区）

保育ナビが
伝えたいこと

子どもたちの未来のために さらなるチャレンジを始めます！

4月号の表紙、ご覧いただけただでしょうか。これが、私たちが守りたい笑顔です。真正面から、子どもたちのより明るい未来のために、読者の皆さまと手を取り合い、尽力していくことを宣言したいと思います。保育ナビ倶楽部（メールマガジン）のリニューアルや動画を含めた新企画も開始し、皆さまとの対話をさらに深めていくことを楽しみにしています！ — 保育ナビ編集部

マークのついているコーナーは毎月、保育ナビ倶楽部メールマガジン（年間購読特典）にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください！



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園 園長 主 主任 リ 学年リーダー

国の動き

園
国の動きを読む！
研究者の目2022 …… 34
文部科学省・内閣府編
大方美香

地域別 持続可能な

園になるために2022 …… 36
「幼保小の架け橋プログラム」が始動！
互いへのリスベクトを大切に
自治体がしっかりと支える体制を

園経営

園
コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 …… 42
桑戸真二 大嶽広展

保育園 新米園長が、
園長の仕事を考える …… 44
柴田直美

その「前提」は正しいですか？
園内研修で取り組む
園の危機管理 …… 46
脇貴志

園のリーダーである園長先生は、園経営においてどのような役割を担っているのでしょうか。保育園の新米園長が、日々の仕事を振り返りながら、園経営の視点から「園長の役割」を考えます。

人材育成

園
人材育成
わいわい語り場 …… 48
大豆生田啓友

倉橋惣三が描く
子どもにふれる …… 54
現代の保育実践を通して
深める倉橋のことは
久保健太 溝口義朗

保育内容

主
共に楽しく！
共に橋を架けよう！
ステップアップ
小学校との接続 …… 58
無藤隆 寶來生志子

基礎研究から学ぶ

赤ちゃん学 …… 60
板倉昭二

主 始めよう

子どもの姿ベースの指導計画 …… 62
高嶋景子 三谷大紀
松山洋平 大豆生田啓友

リ
保育、そこが知りたい …… 68
RISHHOKIDS きらり

注目！

保育の最新研究・調査 …… 74
淀川裕美

リ
歯医者さんが教える！
口の発達と健康 …… 76
藤原康生

巻末

子どもと保育を思う日々から
無藤隆

保育の様々な研究・調査にかかわる研究者が最新情報を解説。研究者から見た「保育の今」がわかります。今月は「食事場面における／をめぐる対話」についてご紹介。



なぜ、私たちは 保育を変えたのか 〜次世代リーダーの決断

少子化、保育者不足などによる園経営の厳しい側面は、園のリーダーを悩ます大きな課題です。では、この課題を乗り越えるためには、どのような変革が必要なのでしょうか？本特集では、保育内容こそが園の未来を変える鍵だというリーダーの気づきから、「子ども主体の保育」への変革に動き出した3つの園の取り組みをご紹介します。

監修／大豆生田啓友（宝川大学）



これからの時代に 必要不可欠な園となるために 子ども主体の保育への転換

大豆生田啓友

今、地域になくてはならない「必要不可欠な園」となることが求められています。そして、園のリーダー

層にはマネジメントの意識改革が必須と言われています(保育ナビ2022年3月号)。しかも、その改革は子どもの育ちや権利の保障が中心であり、職員の人材育成や保護者の満足度も求められているのです。

こうした保育の大変革期にあつて、これまでの「あたりまえ」を見直し、子ども主体の保育に転換している園が全国でたくさん生まれています。そのような園ではどのような変革を行っているのでしょうか。

ここでは3つの園の取り組みを紹介いたします。詳しくは本文をお読み

ただければと思いますが、特にポイントとなるのは次の5点です。

- ①園長などのリーダー層が中心となり、理念と変革のビジョンをもつてマネジメントを行っていること。
- ②園長だけではなく、一緒に変革を進めてくれるパートナー(主任などの中堅リーダー層など)が存在すること。
- ③園内だけではなく外部とのつながり(地域の研修、他園の見学、団体とのつながりなど)を上手に活用していること。
- ④園内の語り合う風土づくりや働き方改革など、人材育成に力を入れていること。

⑤変革の内容を理解してもらおうための「保育の見える化」など、家庭への発信や連携体制の工夫を行っていること。

3園のケースや座談会からは、これ以外にもたくさん大切なポイントを見出すことができるでしょう。そして、今回、3園のリーダー(園長あるいは教頭、副園長)の方々に共通していたのは、実に生き生きと自園の取り組みを語られていたということ。変革を始められているリーダー層の先生たちは実に魅力的で、職員や保護者の心を惹きつけることがよくわかります。そこに、大切な鍵がありそうです。



変革への一歩を踏み出すために リーダーに必要な資質とは!?

3つの園のケースから見えてきた、“保育を変えられる”リーダーの特徴とはなんでしょう。次世代のリーダーに問われる資質について、大豆生田啓友先生、北野幸子先生、矢藤誠慈郎先生に読み解いてもらいました。(座談会は、2021年12月にオンラインにて実施)

構成/こんべいとぶらねっと
写真/渡辺 悟

北野幸子 (きたの さちこ)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授。専門は、乳幼児教育学、保育学。乳幼児の遊び・生活・学びの内容や、乳幼児を教育する専門職の専門性について研究。国内外の保育仲間と共に、保育の質の向上に積極的に取り組む。

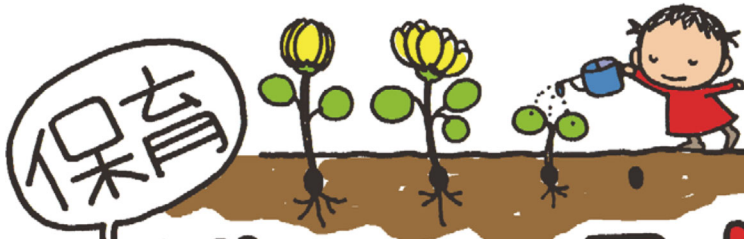


矢藤誠慈郎 (やとう せいじろう)

和洋女子大学人文学部教授。養成から現職を見通した保育者の専門性の開発、保育における組織マネジメント・リーダーシップ等を専門に研究を続ける。全国保育士養成協議会常務理事 日本保育者養成教育学会理事。



コーディネーター
大豆生田啓友
(おおまめうだ ひろとも)



小悩みのタネ

保育ナビの編集委員が、
保育現場から寄せられた悩みに答える、
気づきが生まれる相談室

今月のお悩み

朝のバス停。マナーが気になる保護者がいます

園バスを停車させているバス停は、公共のバス停ではなく、保護者のニーズや道路状況に合わせて園で設置しています。しかし、バスを待っている時に子どもが走り回ったり、子どもの乗車後、その場で保護者だけで1時間以上おしゃべりしたり、雨の日に、近隣のマンションのエントランスに勝手に入って雨宿りをしたり……と、マナー違反と捉えられるようなことをされています。

小さなマナー違反のように思えても、近隣の方にとっては毎日のことなので、いつの間にか積みもり積もって園にクレームが入ることもあります。保護者に指摘をすると、「すみません」と言いつつ「小さい子どもだから……」「バスが遅れる中、雨の中で待ってることですか？」など、園としてはどうするこ



ともできないことを言われ、地域と保護者の板挟みになることがよくあります。

(認定こども園・副園長)

私の園の

自慢の給食



『さくら御膳』

4月のお誕生日会をさくら御膳でお祝い！



旬の食材、地元の食材を使い、季節を感じる給食が自慢。根っこや皮もままごとで子どもシェフがクッキング！

社会福祉法人みっくす社会福祉会
みつばこども園
(兵庫県明石市)

管理栄養士 川口史織さん

あなたも一緒に『保育ナビ』をつくりませんか？

カラーになってさらにパワーアップ！
『保育ナビ』2022年度「私の園の自慢の給食」
『保育ナビ』では皆さまの園の自慢の給食を募集しています。

応募は簡単！2次元コード先、『保育ナビ』公式サイトより詳細を確認のうえ、自慢の給食の写真と必要事項をメールでお送りください。採用者にはQUOカード3,000円分をプレゼントします。皆さまのご応募お待ちしております！



<https://www.hoiku-navigation.com/news/2022kyushoku/>



明石鯛を使った塩窯焼き



ランチルーム



給食の廃棄野菜を使用したままごと





国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目2022
〈文部科学省・内閣府編〉

コロナ克服・新時代
開拓のための経済対策

36

地域別
持続可能な園になるために2022

「幼保小の架け橋プログラム」が始動！
互いへのリスペクトを大切に
自治体がしっかりと支える体制を

園経営

42

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営

組織規模に応じた
経営方針と重点テーマ

44

保育園 新米園長が、
園長の仕事を考える

理念を振り返る

46

その「前提」は正しいですか？
園内研修で取り組む園の危機管理

人数確認をもれなく行う

人材育成

48

人材育成 わいわい語り場

離職率、人材確保の課題
どう対応したらいい？

54

倉橋惣三が描く子どもにふれる
現代の保育実践を通して深める
倉橋のことば

世界を平和にする方法

保育内容

58

共に楽しく！ 共に橋を架けよう！
ステップアップ 小学校との接続

接続の重要性和
今取り組むべきこと

60

基礎研究から学ぶ 赤ちゃん学

赤ちゃん学入門

62

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画

書き方も、話し合い方も様々
子どもの姿から
オーダーメイドで計画を作る

68

保育、そこが知りたい

どうしてる？
ドキュメンテーション

74

注目！ 保育の最新研究・調査

食事場面における
／をめぐると対話
—そこに生きる人たちの声を聴く

76

歯医者さんが教える！
口の発達と健康

乳幼児期にこそ注目したい
「噛む」という行為

歯医者さんが教える!



口の発達と健康



執筆 藤原康生
(歯科医師)

口腔機能の未発達な子どもが増えています。生涯の健康につながる口腔ケアについて一緒に考えていきましょう。

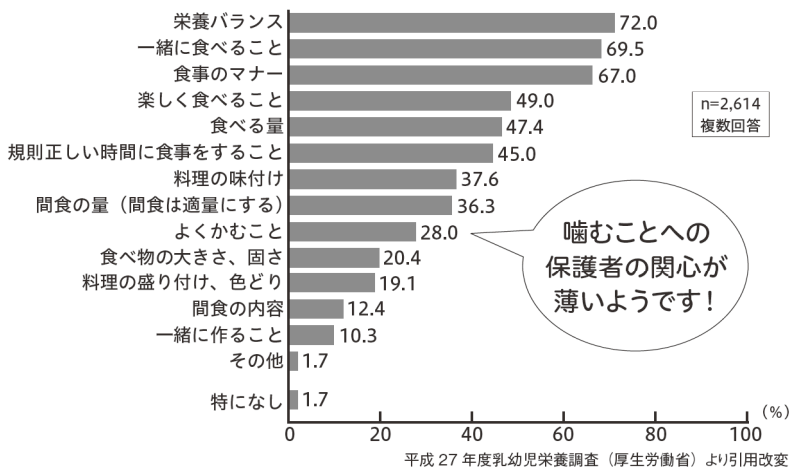
第1回

乳幼児期にこそ注目したい「噛む」という行為

噛まない子どもが増えています。噛まなくても飲み込める柔らかい食事をとることが増えたためです。戦前は1回の食事に1,500回ほど噛んでいたのが、今は500回ほどに減っているそうです。人間の体は、本来、刺激されなければならぬ時期に適正な刺激が与えられなければ、正常な機能を獲得できません。鼻腔や口腔は、おっぱいを飲む刺激や食べ物を噛む刺激で発達し、6歳頃までに完成します。噛む回数が少ないと鼻腔や口腔への刺激が足りず、鼻腔や口腔機能の発達が阻害されてしまいます。その結果、鼻呼吸ができず、口が常に開いたままになっている「お口ポカン」の子どもが

目につくようになりました。お口ポカンには、様々な弊害があります。まず、口が開いたまましていると、口腔内にだ液がいきわたりません。唾液は細菌の増殖を抑え、口臭、虫歯、歯周病などを防ぐ役割があります。唾液がいきわたらないことで、通常なら虫歯になりにくい前歯が虫歯になってしまう事例も少なくありません。また、感染症や熱中症のリスクも高まるというデータもあります。お口ポカンにならないためには、よく噛むことが大切です。下のグラフからもわかるように、子どもの食事は栄養摂取を中心に考えがちですが、保護者と共に、噛むことにも注目してください。

子どもの食事ですべて気をつけていること (回答者: 2~6歳児の保護者)



全12回のテーマ

4月号	乳幼児期にこそ注目したい「噛む」という行為
5月号	保護者に伝えたい適切な口腔ケア
6月号	良い歯並びは「すき間」が大事
7月号	歯に悪いだけじゃない砂糖のお話
8月号	だ液のチカラ1 ~虫歯や歯周病の予防~
9月号	だ液のチカラ2 ~消化吸収の援助~
10月号	だ液のチカラ3 ~味覚と誤嚥予防~
11月号	だ液のチカラ4 ~アレルギー対策~
12月号	だ液のチカラ5 ~食品の発がん性の抑制~
1月号	咀嚼とだ液で脳を活性化させる
2月号	前歯ガブリの食事1
3月号	前歯ガブリの食事2

*より良い企画にするために変更になる場合があります。

構成 / こんべいとぶらねっと イラスト / 吉見礼司

プロフィール ● 藤原康生 (ふじわら やすお) / 歯科医師。熊本県天草市にある生田歯科医院院長。乳幼児から高齢者まで幅広く治療にあたっている。2018年に保育士の資格を取得し、全国の保育関係者に向けて「噛む食育」について講演・執筆活動を行っている。

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

2022年度『保育ナビ』は
保護者、保育者（学生）、
地域から選ばれる
園になるために
保育現場の疑問に
応えていきます。



月刊保育誌『保育ナビ』
定価：1,100円
(本体1,000円＋税10%)、
B5判 80ページ
年間購読：税込13,200円
(本体1,000円＋税10%×12か月)

ポイント1

園の現場の課題を
ピックアップ。
みんなで解決策を
探ります

ポイント2

園内研修どうしてる？
人材育成は？
具体的な手立てを
紹介します

ポイント3

国の動き、園経営、
人材育成、保育内容と
園のリーダーが求める
情報を網羅

5月号以降に始まる連載、新コーナー一覧

タイトル	執筆者	内容
スペシャル対談	保育ナビ編集委員のメンバー× ゲスト	様々な業界で活躍している方をゲスト にお招きします。保育を捉え直すきっ かけが見つかります。
保育・教育の未来を探る	汐見稔幸×ゲスト	保育は人間を育てる仕事。人間と文化の あり方、そして人間と社会のあり方に立 ち返って保育という営みを考えます。
学び上手な認め合いネットワークで 環境を通した保育パワーアップ	秋田喜代美	実際の園事例を紹介しながら、日本の 保育者の強みを確認していきます。
SDGsと保育を結ぶ サステナブル な園のデザインを考える	小西貴士ほか	SDGs（持続可能な開発目標）をキー ワードに、保育現場におけるポジティ ブな取り組みを紹介します。
子どもとつくる 対話でつくる 保育のすすめ ～子どもたちのミーティングを通して	青山誠ほか	子どもたちと創るミーティングの実施 のためのポイントを具体的な事例から 解説します（年3回、1回1事例）。
実況中継 密着・園内研修	矢藤誠慈郎	時間や余裕がないなかで園内研修をど う進めるか。成果を上げた園や現在取 り組み中の園を取り上げます。

※内容は都合により変更する場合があります

『保育ナビ』では、12名の先生方に編集委員としてご参加いただき、特集や企画へのご意見をいただいています。

秋田喜代美（学習院大学）

網野武博（現代福祉マインド研究所）

大方美香（大阪総合保育大学）

大澤 力（東京家政大学）

大日向雅美（恵泉女学園大学）

大豆生田啓友（玉川大学）

小林紀子（青山学院大学名誉教授）

汐見稔幸（東京大学名誉教授）

増田まゆみ（湘南ケアアンドエデュケーション研究所）

無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）

師岡 章（白梅学園大学）

矢藤誠慈郎（和洋女子大学）

敬称略50音順

抽選で3名様にQUOカード3,000円分をプレゼント

『保育ナビ』へのご意見・ご感想 を教えてください!

『保育ナビ』編集部では、『保育ナビ』読者の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。4月号の記事への率直なご感想や、『保育ナビ』で今後取り上げてほしいテーマなどのご意見をお聞かせください。『保育ナビ』企画の参考にさせていただきます。応募は巻末の応募ハガキから!

ハガキをお送りいただいた方のなかから、抽選で3名様にQUOカード(3,000円分)をプレゼントします。

(4月号の応募締め切りは、4月末日消印有効)



紙の誌面は園でじっくり、Web版は外出先などで手軽に!

『保育ナビ』がスマートフォンや タブレットで読める 『保育ナビ Web ライブラリー』 年間購読申し込み受付中

『保育ナビ』のWeb版『保育ナビ Web ライブラリー』では、毎号の『保育ナビ』はもちろん、会員限定の動画情報やコラムなどもアップしています。詳細は、フレーベル館の貴園営業担当、または本社(営業) TEL 03-5395-6608 へご連絡いただくか、右記 URL でご確認ください。

※年間契約(有料)が必要です

- ・検索機能で読みたい記事がすぐに見つかります
- ・大事な箇所はメモ機能やマーカー機能、しおり機能でチェック!
- ・1口の契約で、閲覧可能な端末が2台まで登録可能です
- ・会員限定の特典として、有識者による最新情報などの企画も
- ・2020年度~2021年度の『保育ナビ』(全24冊)もすべて読めます

詳細はこちらから→

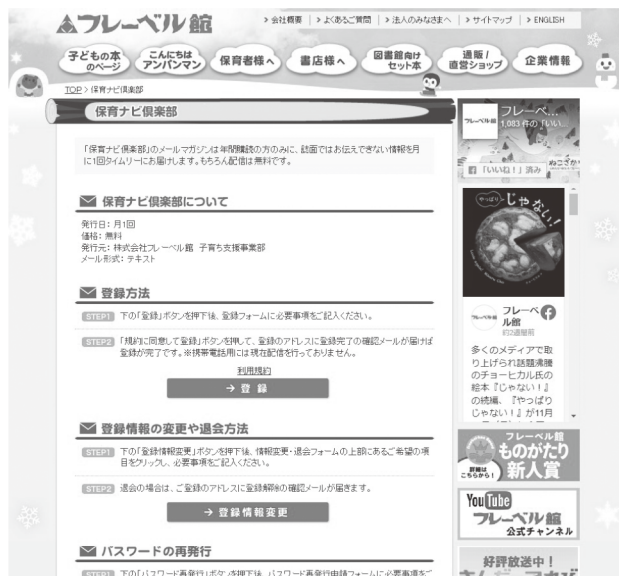
<https://www.hoiku-navigation.com/news/22weblibrary/>



イラスト●すみもとななみ

保育に
役立つ情報が
詰まった

メールマガジン 『保育ナビ倶楽部』 ご登録はお早めに!



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン『保育ナビ倶楽部』（登録無料）。園経営に役立つコラムや、『保育ナビ』人気連載「0・1・2歳児の保育のきほん～こころの育ち編～」の解説動画、誌面の最新情報、フレーベル館の新刊やセミナー情報などをメールマガジンでお届けします。

未入会の方は下の二次元コードよりアクセスし、ぜひとも会員登録ください。

保育に役立つ情報が詰まった
メールマガジン『保育ナビ倶楽部』
会員登録は、こちらから→
https://www.froebel-kan.co.jp/navi_club/



『保育ナビ倶楽部』はお得がたくさん 4月から、新企画がスタート!



園経営に
役立つ
コラム

誌面の
人気連載の
解説動画

誌面の
最新情報

新刊や
セミナー
情報

ご登録、お待ちしております!